

「令和3年度に実施した仕事」の振り返りシート（A：裁量有）

記入日 令和 4 年 4 月 15 日

事業名称		きよはら児童館運営費[きよはら児童館運営事業]																																																								
予算科目	款	3	民生費	項	2	児童福祉費	目	6	児童館費	事業番号	6																																															
事業の種別		<input type="checkbox"/> 市単独 <input checked="" type="checkbox"/> 補助対象 <input type="checkbox"/> 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せあり)																																																								
担当部署・課長名		青少年 課 青少年育成 係				課長名		石川 博隆																																																		
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。								施策番号	2 - 4																																																	
【施策名】 児童福祉の推進								総合計画書(ページ)	59																																																	
1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。				① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標)																																																					
	周辺に住む0~18歳未満の乳幼児、児童とその保護者。 →				市内の0~18歳未満の乳幼児・児童数 (令和4年3月1日現在)																																																					
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に]				② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標)																																																					
	①児童が児童館での遊びや行事を通じて成長できるようにする。 ②乳幼児が安心して遊び、保護者同士が交流、情報交換をできるようにする。				①児童の来館者数(延べ人数) ②乳幼児・大人の来館者数(延べ人数) → (1)乳幼児 (2)保護者																																																					
2 指標の推移	③ そのために何をしましたか。		③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標)																																																							
	①児童の居場所の提供、児童向け行事の開催、ランドセル来館の実施 ②乳幼児の遊び場、保護者同士の交流、情報交換の場の提供。乳幼児親子向け行事の開催。1、2歳児親子サークルの実施。		①年間実施回数 (1)児童向け行事 (2)ランドセル来館 → ②年間実施回数 (1)乳幼児親子向け行事 (2)1歳児親子サークル/2歳児親子サークル																																																							
	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th rowspan="2">単位</th> <th colspan="2">過去2年間の実績</th> <th>当該年度</th> <th colspan="2">成果目標</th> </tr> <tr> <th>平成31年度実績</th> <th>令和2年度実績</th> <th>令和3年度実績</th> <th>令和4年度目標</th> <th>令和5年度目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>対象指標</td> <td>①の数値</td> <td>人</td> <td>12,531</td> <td>13,178</td> <td>12,874</td> <td></td> </tr> <tr> <td>成果指標</td> <td>②の数値</td> <td>延べ人数</td> <td>①20,967 ②(1)496 (2)586</td> <td>①14,287 ②(1)115 (2)155</td> <td>①12,545 ②(1)214 (2)219</td> <td></td> </tr> <tr> <td>目標</td> <td>②の目標値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="7">目標値設定の考え方</td> </tr> <tr> <td colspan="7">令和3年度は、国の緊急事態宣言等の発出にあわせ臨時休館、人数・時間制限等を行ったため、目標値設定不能。</td> </tr> <tr> <td>活動指標</td> <td>③の数値</td> <td>回</td> <td>①(1)84 (2)262 ②(1)20 (2)19/25</td> <td>①(1)32 (2)292 ②(1)11 (2)0/0</td> <td>①(1)14 (2)292 ②(1)19 (2)0/0</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			単位	過去2年間の実績		当該年度	成果目標		平成31年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度目標	令和5年度目標	対象指標	①の数値	人	12,531	13,178	12,874		成果指標	②の数値	延べ人数	①20,967 ②(1)496 (2)586	①14,287 ②(1)115 (2)155	①12,545 ②(1)214 (2)219		目標	②の目標値						目標値設定の考え方							令和3年度は、国の緊急事態宣言等の発出にあわせ臨時休館、人数・時間制限等を行ったため、目標値設定不能。							活動指標	③の数値	回	①(1)84 (2)262 ②(1)20 (2)19/25	①(1)32 (2)292 ②(1)11 (2)0/0	①(1)14 (2)292 ②(1)19 (2)0/0		事業費(実績) 円 10,575,393 12,971,698 12,818,128	
		単位			過去2年間の実績		当該年度	成果目標																																																		
平成31年度実績			令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度目標	令和5年度目標																																																				
対象指標	①の数値	人	12,531	13,178	12,874																																																					
成果指標	②の数値	延べ人数	①20,967 ②(1)496 (2)586	①14,287 ②(1)115 (2)155	①12,545 ②(1)214 (2)219																																																					
目標	②の目標値																																																									
目標値設定の考え方																																																										
令和3年度は、国の緊急事態宣言等の発出にあわせ臨時休館、人数・時間制限等を行ったため、目標値設定不能。																																																										
活動指標	③の数値	回	①(1)84 (2)262 ②(1)20 (2)19/25	①(1)32 (2)292 ②(1)11 (2)0/0	①(1)14 (2)292 ②(1)19 (2)0/0																																																					
3 経費	財源	一般財源	円	8,874,183	9,709,258	10,232,128	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,250,000円 時間単価は、4,200円 で計算してください。 【算出根拠】令和2年度決算数値(退職手当組合負担金、共済費も含む。)																																																			
		特定財源(国・都・他)	円	1,701,210	3,262,440	2,586,000																																																				
		(うち受益者負担)	円	16,210	0	0																																																				
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人	1.0	1.0	1.0																																																				
		所要人数(再任用)	人																																																							
		職員人件費(再任用以外)	円	8,310,000	8,380,000	8,250,000																																																				
職員人件費(再任用)	円																																																									
事業費+人件費		円	18,885,393	21,351,698	21,068,128																																																					
4 環境変化等	(1) 開始年度		昭和51 年度																																																							
	(2) 環境の変化		通常の児童館運営の外、学童の待機児童対策の一環として平成21年よりランドセル来館事業を開始し、現在では学童と独立した児童預かり事業として機能している。また、子育て支援の必要性が高まり、児童のみならず、乳幼児とその保護者を対象にした地域子育て支援拠点事業(子育てひろば)についても取り組んでいる。 令和3年度については特に、新型コロナウイルス感染症の影響により、臨時休館及び行事の中止が相次ぎ利用者が減少した。																																																							

事業名称	きよはら児童館運営費[きよはら児童館運営事業]			
担当部署・課長名	青少年	課	青少年育成	係 課長名 石川 博隆

5 市民等の意見	この仕事に関して、令和3年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について 子育てひろばの利用者から感想を頂いた。 ・子の月齢（年齢）が近い保護者と知り合うことができた。 ・家には無いおもちゃがあり、新しいおもちゃも増えていて楽しい。 ・家でも簡単にできる遊びや工作を知ることができた。
6 市民協働	(1)この仕事の実施にあたり、市民協働に取り組みましたか。取り組んだ場合、取組手法欄の種類から番号を選択し、取組手法欄に番号を記載してください。（複数回答可） <input checked="" type="checkbox"/> 取り組んだ <input type="checkbox"/> 取り組まない 取組手法：③ 【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ） ⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）
	(2)令和4年度に向け、さらに適した協働の形態とするために「考え」「気付いた」点 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、事業協力の内容から精査する必要がある。
7 課題	(1)令和3年度に課題とした内容（「令和2年度に実施した仕事」の振り返りシート 7課題（3）を転記） 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を十分に行ったうえでの児童館の運営。
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、令和3年度に実施したこと。 手指・環境消毒のための消耗品購入や、換気設備の修繕など、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止対策の徹底を図ったうえで児童館運営を行った。
	(3)(2)を踏まえた今後の課題（仕事の最適化・合理化の提案） 引き続き新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を十分に行ったうえでの児童館の運営。
8	施策貢献状況（この仕事は、総合計画（基本計画）に掲げる課題の解決手段になっているか。） 施策名： 児童福祉の推進 <input type="checkbox"/> なっている <input checked="" type="checkbox"/> 環境の変化等により成果が減少している <input type="checkbox"/> 類似の事業が他にあり改善の余地がある 事業名（ ）
9 今後の方向性	(1)仕事の方向性（「7 課題（3）」の課題及び「8 施策貢献状況」を踏まえた具体的な改革・改善案など） <input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 【取組内容】 新型コロナウイルス感染症感染拡大防止対策の徹底。
	(2)上記(1)の取組にあたり、克服すべき問題点、必要な調整・準備等 職員一人一人が新型コロナウイルス感染症の情報を認識・共有し、クラスター等を起こさないようにする。